

PACガーディアンズ通信

第9号

PAC-Guardians

2010年10月15日

第4回成年後見人候補者養成講座

平成23年1/29(土) & 2/5(土)

PACガーディアンズ主催の成年後見人候補者養成講座は、障害のある方とご家族、一般市民の方々を対象に過去3回開催し、113名の方が修了証を受領されました。その内32名の方が成年後見人候補者として登録され、4名が、PACガーディアンズが法人受任した後見等の事務執行者として活躍しておられます。

今回は、申立の実際、後見人事務の実相、後見制度利用に必要な福祉制度の内容等をそれぞれの領域に造詣の深い専門の方々またはPACガーディアンズの専門家委員など、講師が丁寧に説明し、学んで頂けるプログラムを用意しています。

私たちと一緒に後見人として活躍したい方、後見人としての活動を援助して欲しい方、制度の理解を一層深めたい方、などなど大勢のご参加をお待ちしています。

(社会福祉士 小川裕二)

「定例勉強会」 11月13日(土)

千葉県社協では昨年度から「第2次成年後見制度研究委員会を設置して、社協が行う法人後見のあり方を掲げています。そこで、今回の定例会は品川成年後見センター室長の斎藤修一氏に「品川社協の法人後見の取り組みについて」お話いただきます。

時間 10時～12時

会場 市川市教育会館・多目的ホール

JR本八幡駅南口から徒歩8分

参加費 500円(賛助会員無料)

申込先 FAX 047-465-9022

e-mail pacg@liaisonlc.com

第5回事例検討会の報告

平成22年9月11日(土)、船橋勤労市民センターにおいて、PACガーディアンズ成年後見人養成講座を修了された方、関係者の方、24名の方が参加し事例検討会を実施しました。22年4月より法人受任している方のケースを発表させて頂きました。事務執行は小川さんと二人で行っています。私自身、事務執行者となるのは初めてですが、複数後見であること、何かあればいつでも相談できる人、機関があることは心強い限りです。

検討会では様々な質疑応答から活発な意見交換ができ、新しい気づきもありました。助言をして頂いた皆様、ありがとうございました。

障害のある方がその人らしい暮らしができるようにハートのある支援をしていきたいと思っています。

《全国権利擁護支援ネットワーク 関東ブロック》

日時 平成23年1月9日(日)

12:30～16:00(受付12:15から)

会場 銚子読売ホール(JR銚子駅徒歩3分)

テーマ『権利擁護支援団体と公的機関の連携について』講演会&パネルディスカッション

参加費 無料 駐車場も無料です。

申込み pact-net@mbn.nifty.com



特定非営利活動法人 PAC ガーディアンズ

理事長 佐藤彰一

事務局 船橋市西習志野4-24-17

TEL047-465-9022 FAX 同

E-mail pacg@liaisonlc.com

ホームページ → <http://pacg.jp/>



全国が注目！どんどん広がる「コミュニティフレンド活動」千葉県と協働事業の成果

県内では、千葉県との協働事業「コミュニティフレンド活動促進事業」については、県のホームページでも掲載されています。その一環として8月28日旭市、10月16日市川市で養成講座を行いました。またコーディネータ養成プログラムも進めています。市川での養成講座の様子が写真付きで追加される予定です。11月初めに載る予定なので、どうぞ千葉県のホームページにアクセスしてみてください。

次に県外の動きを2つ。神戸市のNPO法人CS神戸が準備を進めていた活動は、「アイフレンド（アイフレ）」として進められています。8月にPACガーディアンズから講師3名が行き、コーディネータの業務や取り組みに対する留意点などを協議してきました。鳥取でもコミュニティフレンド事業を開始したとの嬉しい情報をいただいています。今回は第一報まで。2月にはPACガーディアンズから鳥取に出かけ、様子を伺ってきます。次の機会にその結果、また、そのほか全国の取り組みをご報告します。（副理事長 名川勝）

コミュニティフレンド養成講座

千葉県との協働事業として、**7月31日に8月28日に千葉・旭**にて開催しました。

10月16日は市川で開催でした。

どの回も楽しい講座内容だったとご好評いただいております。

次回は

◎11月28日は佐倉・13:30～15:30

場所：佐倉市西部地域福祉センター

（ユーカリが丘徒歩10分程）です。

ぜひ、周りの方へお声かけ下さい。（CFコーディネータ和田加奈）



地域のうごき

（市川手をつなぐ親の会より、9月25日、市川では、4障害者団体、精神、発達、知的、自閉症の親、家族の会が主催となり、暮らしに活かそう成年後見制度学習会を行いました。始めの当事者、支援者の発表で、後見制度とそれを支える仕組みが必要との話がありました。次に、佐藤彰一氏より「制度は地域の課題にどこまで応えられるか」の基調講演があり、制度だけでは地域の課題に応えられない。その為に多くの人に関わる工夫が重要とのメッセージがありました。後のシンポジウムでは、「成年後見制度の仕組み作りはどこまですすんでいるのか」をテーマに、市川市地域支援課、障害者支援課、社協、松戸市介護予防推進室の方々と、後見を支援する仕組みを作っていくという共通の目的を持つ方向で、議論が高まりました。120名を超える参加者で大盛会となりました。市川手をつなぐ親の会 浜本真知子）

コミュニティフレンド連絡会

船橋フェイスにてコミュニティフレンド連絡会を行ないました。最近活動を始めた方、複数のパートナーさんと活動している方など様々なCFさんの参加をいただきました。リラックスした雰囲気の中で、活動報告をおこない、発達障がいのある方への配慮など、時間が足りないと感じるほどに皆さんが意見を出し合い、実りのある会となりました。懇親会に、新CFさんにも参加していただき、美味しい食事とお酒で話は尽きず、終電まで盛り上がりました。

（CF委員 森一史）

NEWS！全日本育成会・第12回権利擁護セミナー

「これからの成年後見と虐待防止」

～知的障害のある人を守る～

・日本財団ビル・平成22年11月17日

・基調講演と講師

「障害者虐待防止法はなぜ必要なのか」野澤和弘氏

「身上監護の福祉システム化を目指して」細川瑞子氏

※詳細は各地域の育成会へお問合せ下さい。

編集後記： 秋本番、季節は移ろいますね。通信は年に2度の発行。情報が足りないよ…？そんな方は、ぜひ、養成講座・定例会などに足をお運びください。（A）